

## 音 楽 I

### 1. 学習の到達目標

- (1) 自己の個性的な創造性が自覚でき、それを積極的に表現する力を身につける。
- (2) 読譜力の伸長を図り、音楽理論を学習し、歌唱・器楽演奏において高校生らしい芸術性のある表現を目指す。
- (3) 音楽史を学習し、芸術性の高い音楽を愛好する心を育くむ。

### 2. 使用教科書 高校音楽 I Music View (教育出版)

### 3. 指導計画

| 学 期 | 学習内容とねらい | 学習事項  |   |
|-----|----------|---|---|
| 前期  | 4月       | <b>【歌唱（斉唱）】</b><br>・大館鳳鳴高校校歌・応援歌<br>・地元に関連のある音楽作品<br>（愛校心の育成、地元の良さの認識）<br>・教科書にある芸術歌曲<br>（芸術観の育成、歌唱の技術向上）           | <b>◆実技学習</b><br>表現力豊かな発声法の習得。<br>理論学習と絡めての、より正確な音程感覚の習得。                  |
|     | }        | <b>【理論（楽典）】</b><br>・音名、音程などの基礎知識<br>・音程<br>・調性<br>（実技に応用できる基礎的知識の定着）  | <b>◆理論学習</b><br>楽典の基礎知識を習得。主に歌唱に生かせる知識。                                   |
|     | 9月       | <b>【音楽史・音楽鑑賞】</b><br>・中世・ルネサンス時代の音楽史<br>（西洋音楽へのより強い興味・関心）<br>・バロック・古典派の音楽史<br>（高いレベルの芸術観を考察。音楽の形式についての知識習得。鑑賞能力の向上） | <b>◆歴史学習</b><br>中世から古典派の時代までの音楽史を学習。<br><b>◆音楽鑑賞</b><br>音楽史の学習に関連した教材を鑑賞。 |
| 後期  | 10月      | <b>【歌唱（合唱）】</b><br>・教科書または教科書外の合唱曲<br>（和声感覚の向上、歌唱の技術向上）   | <b>◆実技学習</b><br>表現力豊かな発声法の習得。<br>理論学習と絡めての、より正確な和声感覚の習得。                  |
|     | }        | <b>【器楽（リコーダー）】</b><br>・教科書または教科書外の器楽曲<br>（リコーダー演奏技術の向上、形式観、曲の性格についての考察）   | <b>◆実技学習</b><br>表現力豊かな演奏法の習得。<br>前期の音楽史学習と絡めての、形式観、性格的舞曲の考察への取り組み。        |
|     | }        | <b>【理論（楽典）】</b><br>・和声<br>（実技に応用できる基礎的知識の定着）  | <b>◆理論学習</b><br>楽典における基礎的な和声の知識を習得。主に合唱や器楽演奏に生かせる知識の習得。                   |
|     | 3月       | <b>【音楽史・音楽鑑賞】</b><br>・ロマン派・近代・現代の音楽史<br>（西洋音楽へのより強い興味・関心。作曲家の創造スタイルへの興味関心、および知識の習得）                                 | <b>◆歴史学習</b><br>中世から古典派の時代までの音楽史を学習。<br><b>◆音楽鑑賞</b><br>音楽史の学習に関連した教材を鑑賞。 |

### 4. 評価基準と方法

#### 【評価基準】

- 実技学習においても、鑑賞学習においても集中力と意欲をもって取り組むことができる。
- 自己の個性的な感受と積極性をもって表現ができる。
- 基礎的な知識や技術を表現に応用ができる。
- 集中力と高い芸術観をもって鑑賞に臨み、その演奏から作曲家・演奏者の思いを感じ取ることができる。

#### 【評価方法】

学習活動への積極的参加、実技および鑑賞の自己評価表、授業時間内での実技テスト、授業時間内での課題プリント

